

ホシザキ北信越 株式会社

◎ 事業所概要

企業名：ホシザキ北信越 株式会社
代表者氏名：代表取締役 大場 則夫
所在地：金沢市松島 2-26
業種：卸売業・小売業
労働者数：451人



◎ 行動計画

- | | |
|--------|--|
| 1 計画期間 | 平成 28 年 4 月 1 日 ~ 令和元年 12 月 31 日 |
| 2 取組目標 | <input type="checkbox"/> 社員への規程の周知
<input type="checkbox"/> ノー残業デーの実施
<input type="checkbox"/> 有給休暇取得率 50%以上 |

◎ 認定取得に向けた取組状況

・男女とも育児休業が取得可能であることを周知するため、全従業員を対象とする社内研修にて育児・介護休業規程を説明する時間を設け、改めて社員が取得できる休暇等の周知を行った。また、新入社員研修においても育児・介護休業規程を説明する場を設けた。

また、管理者のイクボス宣言や子どもが生まれた男性社員への取得勧奨など、育児休業を取得しやすい環境づくりに取り組んだ。

その結果、行動計画の1年目は育児休業を取得した男性社員はいなかったが、2年目には取得率が33.3%、3年目には43.8%、4年目には83.3%にまで上昇した。

・ノー残業デーを週1回設定し、毎月全社員へ配付するスケジュール表にて実施日を周知するとともに、ノー残業デーの当日は昼休みに全社員の携帯電話へ「早帰りメール」を送信した。

また、既に実施していたパソコンの自動シャットダウンを20時00分から19時30分に前倒しし、全社的に時間外労働の削減に取り組んでいる。

2019年度の時間外労働及び休日労働の時間数 20.8時間/月

・ 毎月1回、部署別の有給休暇取得率の一覧表を発信し、取得促進の意識付けを行うとともに、休みやすい環境を構築するため、「有給取得推進日（会議等を入れない）」や「休み社員メール（仕事の連絡が入らないよう取得者を周知）」等の取組を実施している。

また、2017年1月に時間単位有給制度を導入し、子どもの送迎や通院等で柔軟に活用できるようにした。

2019年度の有給休暇取得率 70.5%

・ 育児を行う女性労働者が就業を継続し活躍できるよう、ホシザキ北信越独自の取組として、管理職向け研修として女性係長職昇格者向け研修を実施した。

◎ 企業からのひとこと

○ 行動計画に基づく取組に当たって工夫した点

有給休暇 50%以上について、内勤社員や女性社員にはすでに浸透していましたが、なかなか外勤社員や男性社員には浸透せず、取得率が伸び悩んだ時期もありました。

有給休暇中も仕事の電話がかかってきたり「休んだ気になれない」という声もあり、総務課より毎日全社員の携帯電話に「今日の休み社員」を周知するメールを発信しました。その結果、毎日誰が休んでいる状況かがすぐ分かり、個々の有給取得に対する意識が高まったと思います。

○ 行動計画に基づく取組の効果・課題

有給休暇取得の意識向上は図れましたが、それでも社員全員が有給取得率 50%以上を達成するには更なる対策が必要と考えます。こういった対策をとらなくても、社員が自然と休暇を取ることが当たり前という環境を作っていきたいと思います。

○ 育児休業等を取得した男性社員の声

部署内で育児休業取得について協力と理解を得ることができ取得しました。日頃、育児と家事を両立している妻に対して改めて感謝できました。息子と一緒に過ごす時間がたくさんとれて、私自身も楽しく過ごすことができました。【事務職/32歳】

子供が生まれてから妻が毎日忙しそうで、少しの間でもリフレッシュできる時間を作ってあげたいと思い育児休暇を取得しました。毎日妻がしていることの大変さを実感することができ、普段からも積極的に育児に参加しようと思える機会となりました。【営業職/27歳】

妻にリフレッシュしてもらおうと、育児休暇を取得して旅行に出かけました。自分が思っていたよりも息子は小さいながらもパパの存在を認識し、自分を必要としてくれていると実感することができました。奥さん孝行もできて良かったです。【技術職/37歳】